

脱炭素社会の実現に貢献する

総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループへの進化

BUSINESS REPORT

シナネンホールディングス株式会社

第90期 第2四半期 株主通信

2023.4.1 ~ 2023.9.30



CONTENTS

P1 トップメッセージ

P3 **特集** 第三次中期経営計画

経営基盤強化施策

P5 TOPICS

P6 株主様と当社のコミュニケーションコーナー
IR LOUNGE



SINANEN

証券コード：8132

厳しい事業環境下においても、第三次中期経営計画で掲げたビジョンの達成に向け、中長期的な視点で経営基盤の強化を推進してまいります。

代表取締役社長
山崎 正毅



第三次中期経営計画の進捗

当社グループは、2027年度の創業100周年に向け当期から第三次中期経営計画をスタートさせ、「脱炭素社会の実現に貢献する総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループへの進化」というビジョンの実現をめざして、事業構造の改革と経営基盤の強化を加速させる成長戦略を推進しています。

事業面では、既存事業の収益拡大と脱炭素社会の実現に寄与する新規事業創出の両輪で収益性の向上を図っており、当第2四半期にはCO₂排出量を実質ゼロとする「ミライフカーボンニュートラルLPガス」の販売開始、EV（電気自動車）のワイヤレス充電技術を有するWiTricity Corporationと日本との販売展開での基本合意、ソーラシェア発電等の再生可能エネルギー電力供給スキームの構築など、新たな取り組みを積極的に進めています。

当第2四半期の業績

当第2四半期は、売上高では石油類と電力の販売数量増加により増収となった一方、損益面では、主に電力事業における売上総利益の悪化が大きく影響し、各段階で損失を計上しました。

電力事業については、大口・一般需要家の解約や継続顧客の需要減などにより仕入価格の高騰リスクに備えて確保した調達電源に余剰が発生し、その余剰分について卸電力市場価格の低迷を受け「逆ザヤ」での売却を余儀なくされたことから、売上総利益が前年同期を大きく下回る状況となりました。電力事業については、事業の再構築を含む抜本的な見直しを進めてまいります。また、当社として、この業績状況を真摯に受け止めており、今後、経営責任の明確化を図っていく予定です。

経営基盤の強化に向けて

業績面で厳しい状況が続きますが、当社グループは、第三次中期経営計画において、「脱炭素社会に対応した事業構造への転換」と「社員の市場価値の向上」を非財務目標として掲げています。

これらの目標を達成するために、第三次中期経営計画の前半3年間で積極的に戦略的投資による新規事業創出を行ってまいります。また、事業構造の改革に向けた取り組みの一つとして、2023年10月1日にグループ内の建物維持管理事業4社を統合し、総合建物メンテナンス会社「シナネンアクシア株式会社」を設立しました。（詳細はP3-4をご確認ください）

これらの施策により、この期間は経営基盤の強化を加速させるフェーズと位置付けております。

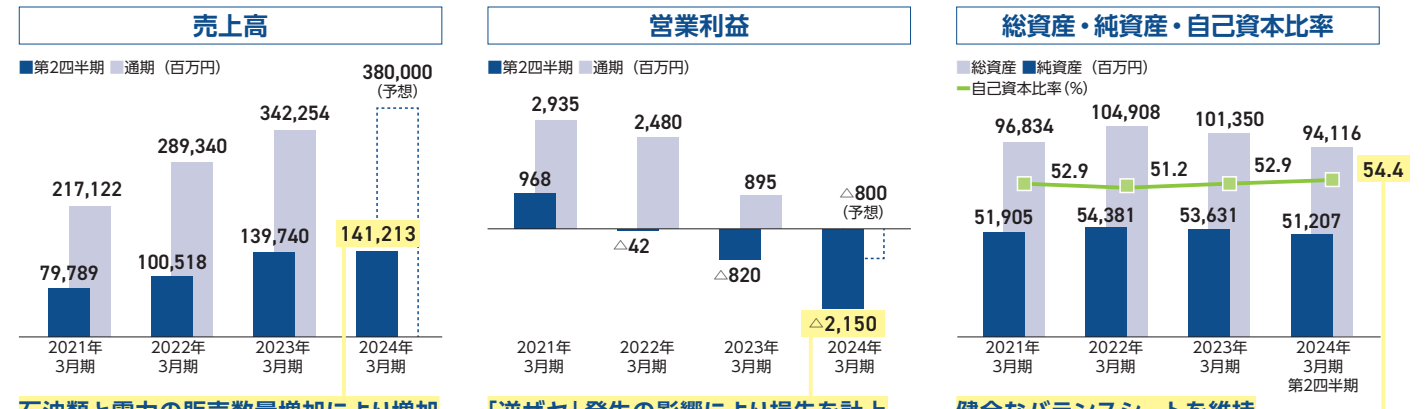
一方で、2023年4月に風土改革における働き方改革の一環として、様々な制度を盛り込んだ新人事制度を導入しました。これらの取り組みが結実して、後半2年間で大きく収益を伸ばし、創業100周年における目標の達成とさらなる飛躍・躍進を目指してまいります。

株主の皆様へ

通期業績予想については、売上高は原油価格・プロパンCPが上昇基調で推移していることなどを踏まえ期初予想を上回る一方、損益面では電力事業における売上総利益が想定を下回ることから、遺憾ながら損失を見込んでおり、株主の皆様には大きなご心配をおかけしていますが、安定的な配当を基本とする配当方針のもと、2024年3月期の期末配当予想について修正はございません。

下期についても事業環境は引き続き厳しいものと予想しますが、当社グループとしては、中期経営計画に基づき経営基盤の強化を加速させるとともに成長戦略を確実に実行することが対処すべき課題であると考えています。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト



石油類と電力の販売数量増加により増加

原油価格の低下に伴い販売単価が下落したものの、石油類と電力の販売数量増加により、売上高は前年同期比1.1%増となりました。通期では、原油価格・プロパンCPが上昇基調で推移していることもあり、増収となる見込みです。

「逆ザヤ」発生の影響により損失を計上

電力事業において、相対調達した電源に余剰が発生し、低位で価格推移する卸電力市場の影響を受けた「逆ザヤ」での売却が要因となり、営業損失を計上しました。期初より推進中の施策は想定通り進捗するも、販売見通しの減少を補うには至らず、通期予想を下方修正しています。

健全なバランスシートを維持

季節変動に伴う売上債権等の減少が主要因となり、前期末と比較して総資産は減少しています。一方で、自己資本比率は50%超えを維持し、健全で安定した財務基盤を確保しています。

今後の取り組み

エネルギー卸・小売周辺事業 BtoC事業



エネルギーの販売、リフォーム・住宅設備などの住まいのご提案、ハウスクリーニングなどの暮らしのサービスのご提供を通じ、地域密着でお客様の快適な生活に貢献しています。

上期にサービス提供を開始した「ミライフカーボンニュートラルLPガス」など、多様化するライフスタイルやニーズの変化に対応したサービスを展開し、お客様の利便性向上に貢献してまいります。

エネルギーソリューション事業 BtoB事業



石油・ガス・電力を取りそろえ、多彩なエネルギーサービス・ソリューションをご提案しています。再生可能エネルギー事業、クリーン電力の販売などにも積極的に取り組んでいます。

EVワイヤレス充電システムの国内普及の推進、ソーラシェア発電等による再生可能エネルギー電力の供給など、総合エネルギーサービスへのポートフォリオ転換に向けた取り組みを進めます。

非エネルギー事業



お客様のビジネスや暮らしに幅広く貢献するため、エネルギー以外の分野にもビジネスフィールドを広げています。

シェアサイクル事業において、「ダイチャリ」の拠点開発を推進するだけでなく、建物維持管理事業では、業務エリア・範囲の拡大を進め、多様な視点で社会の未来を支えるサービスを展開していきます。

第三次中期経営計画

詳細はこちらからご確認ください。
<https://sinanengroup.co.jp/ir/individual/management.html>



Vision >>>

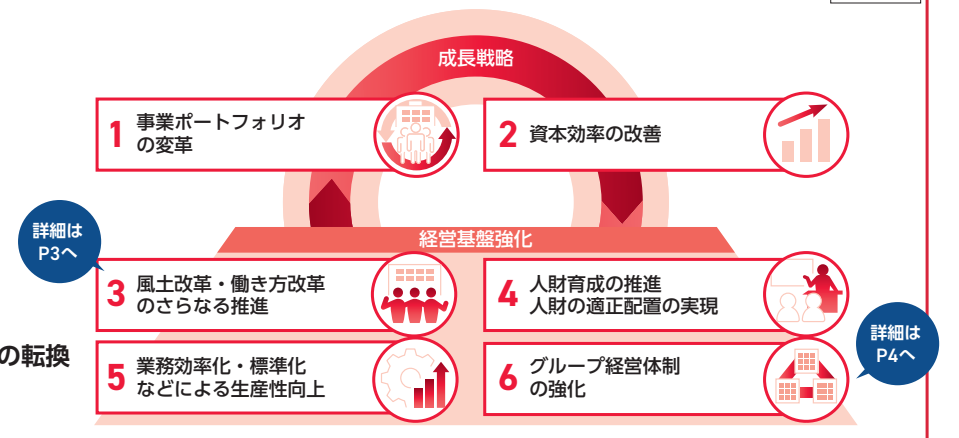
脱炭素社会の実現に貢献する
総合エネルギー・ライフクリエイト
企業グループへの進化

財務目標 >>>

ROE 8%以上 経常利益 100億円

非財務目標 >>>

1. 脱炭素社会に対応した事業構造への転換
2. 社員の市場価値の向上



経営基盤強化 3 風土改革・働き方改革のさらなる推進

社員の市場価値向上に向け、新人事制度を導入

第三次中期経営計画では、非財務目標の1つとして「社員の市場価値の向上」を掲げています。この目標を達成するための経営基盤強化施策のうち、風土改革・働き方改革のさらなる推進について、2023年4月に導入した新人事制度をご紹介します。

具体的に
どう
変わるの？

キャリアビジョンやライフステージ等に合わせ、より柔軟な働き方を選択することができます！

今回の「新人事制度」により、社員の皆さんは、ご自身のキャリアビジョンやライフステージ等に合わせ、より柔軟な働き方を選ぶことが可能となりました。各々が自身にあった働き方を選択することにより、個人の更なる成長へとつなげてもらうことを期待しています。また、人事部門としては、社員の成長を促すための施策を継続的に展開し、成長した社員に選ばれ続ける組織を目指し、風土改革とさらなる働き方改革を進め、企業価値向上につなげていきます。



取締役 COO 三橋 美和

具体的な取り組み

副業制度



個人のスキルアップや成長につながる業務を前提に、フリーランスとしての業務受託、起業、家業の支援など、他社との雇用契約がない形態で副業ができます。

70歳までの再雇用制度



当社では65歳を定年としていますが、対象の社員が希望し、かつ自社で掲げる基準に該当する場合は、雇用機会を提供し、70歳まで再雇用します。

育児休業中の学習支援



育児休業中の社員へ、自身の状況に応じて、希望したオンライン講座を受けられる学習機会を提供します。

新人事制度によって目指すこと

新人事制度の施策

- ・副業制度
- ・70歳までの再雇用制度
- ・育児休業中の学習支援
- ・自己都合退職者再雇用制度（アルムナイ制度）
- ・治療と仕事の両立支援

新制度で目指す目標

中期経営計画
非財務目標
社員の市場価値の向上

ビジョンの実現

選ばれ続ける人と組織へ
**「Spiral Up Company
～情熱とワクワクの
エネルギー好循環組織～」**

詳細はこちらからご確認ください。
<https://sinanengroup.co.jp/company/management/culture.html>



経営基盤強化 6 グループ経営体制の強化

グループ会社4社を統合し、新会社を設立

2023年10月に、タカラビルメン、インデス、ガスシステム、サンフィールの4社を統合し、「シナネンアクシア株式会社」を設立しました。今回の統合により、実効的・機動的なグループ経営体制を構築し、グループ経営体制の強化へ繋げてまいります。

どのような
メリットが
あるの？

各社が持っているサービスやリソースを集約し、より広範囲に、ワンストップで高品質なサービスを提供することが可能になります。

当社グループにおいて、建物維持管理事業は、M&A等を通じて拡大してきた非エネルギーセグメントの中核事業の一つです。これまでそれぞれの事業エリアでサービスを提供してきた4社を統合することにより、各社が保有しているサービス・リソースを集約し、より広範囲に、ワンストップで高品質なサービスを提供することが可能となります。

私たちが大切にすることとして掲げた3つのコンセプトのもと、建物のプロとして、ビルメンテナンスから施設運営まで一括して管理し、建物の利用者に快適、安心、安全をお届けする総合建物メンテナンス会社として、人と未来の快適をつくらせてまいります。



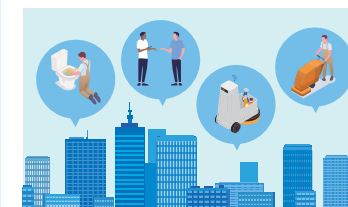
シナネンアクシアの3つのコンセプト

1



建物の維持・管理業務の
煩雑さを改善するために、
建物管理に関する業務を
「ワンストップ」で解決すること。

2



課題を見つけ出す人の力と、
課題解決を叶える
最先端のテクノロジーで卓越した
「サービス品質」を提供すること。

3



時代とともに変化する
お客様のニーズに寄り添い、
未来基準となる
新たな「価値」を創造すること。



シナネンアクシア(株) 代表取締役社長
中込 太郎

今回の統合により、シナネンアクシアは「エネルギーと住まいと暮らしのサービスで地域すべてのお客様の快適な生活に貢献する」ための、一役を担っていきます。当社グループの次の事業の柱となるよう、第三次中期経営計画で当社の目標として掲げた「全国主要都市部での20カ所の販売戦略拠点の開設」に向け、総合建物メンテナンス企業としての成長を目指してまいります。

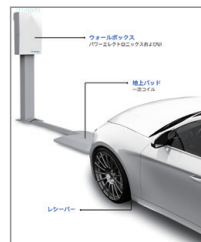
詳細はこちらからご確認ください。
<https://sinanenaxia.co.jp/>





EVのワイヤレス充電技術を有するWiTricityと 日本市場での販売展開に関する基本合意を締結

WiTricity
ワイヤレス充電システムの
開発・生産



日本における
ワイヤレス充電の
インフラ構築

シナネンホールディングス
輸入・販売
充電設備の設置など



当社グループは、EV(電気自動車)のワイヤレス充電システムの開発・生産を展開するWiTricity Corporationと、今後の協力関係に関する基本合意を締結しました。今後は、WiTricityの日本展開における事業パートナーとして、WiTricity製品の輸入・販売業務などに取り組みます。今回の基本合意締結により、EVへのワイヤレス充電システムの提供が加わることで、第三次中期経営計画で掲げたビジョンのもと、法人・個人における脱炭素化に向けたサービスメニューの強化を実現してまいります。

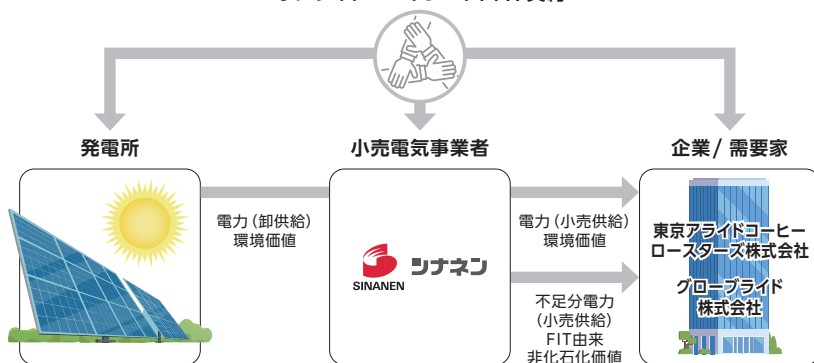
全国のミライフで、CO₂排出量を実質ゼロとする 「ミライフカーボンニュートラルLPガス」を販売開始

LPガスの採掘から最終消費までのライフサイクルで排出されるCO₂排出量を、クレジットの購入によりオフセット(相殺)することで、CO₂排出量を実質ゼロとするLPガスである「ミライフカーボンニュートラルLPガス」の販売を、全国のミライフで開始しました。将来的には、エネルギー消費に付帯する事業所内で発生する全てのCO₂排出量に関する課題を一元的に解決可能とし、ユーザーのニーズに合ったベストミックスのサービス提供を目指してまいります。



東京アライドコーヒーローズ(株)とグローブライド(株)へ オフサイトコーポレートPPA※による再生可能エネルギー電力供給に合意

オフサイトコーポレートPPA 契約



※需要家が発電事業者から再生可能エネルギーの電力を長年に購入する契約。遠隔地の発電設備から送配電網を介して需要家へ送電するモデル。

シナネン(株)は新設した太陽光発電所で調達する再生可能エネルギー由来の電力を、東京アライドコーヒーローズ(株)とグローブライド(株)へ供給することに合意しました。両社の温室効果ガス排出量の一層の削減に向けて、シナネン(株)がオフサイトコーポレートPPAの仕組みを用い、再生可能エネルギー由来100%の電力供給を行ってまいります。再生可能エネルギー導入により、脱炭素化推進に貢献するとともに、オフサイトコーポレートPPAの太陽光発電だけでは不足する電力については、再生可能エネルギー発電所由来の非化石証書を付与することで、100%再生可能エネルギーの使用を実現してまいります。

経済産業省「GXリーグ」に参画

経済産業省が主導する「GXリーグ」は、2050年カーボンニュートラル社会の実現と社会変革を見据えて、GX(グリーントランスフォーメーション)への挑戦を行い、現在及び未来社会における持続的な成長実現を目指す企業が、同様の取り組みを行う企業群や官・学と協働する場です。2023年度からの「GXリーグ」の本格稼働に合わせ、このたびシナネンホールディングスグループとして参画し、総合エネルギーサービス企業グループとして、GXに向けた取り組みを積極的に推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



IR LOUNGE

株主様と当社のコミュニケーションコーナー

ご協力いただいた方 **抽選で500名様にクオカード500円分**をプレゼント!!

株主アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

アンケート実施期間:2024年1月31日(水)まで

当社グループでは、株主の皆様のご意見を今後のIR活動に活かしていきたいと考えています。つきましては、同封のハガキにてアンケートへのご協力をいただきますようお願い申し上げます。抽選で500名様に『緑の募金への寄付金付き「おもしろい」QUOカード』※500円分をプレゼントします。

※(株)クオカードでは社会貢献活動の一つとして、環境活動への参加を公益社団法人国土緑化推進機構「緑の募金」を通じて行っています。本カードの特徴は、カード1枚につき10円が「緑の募金」へ寄付され、緑化推進に役立てていただくものです。



株主番号の確認方法

ハガキに記載いただく株主番号は、株主様宛にご送付している送付状に記載されております。お手元に書類がございましたらご確認ください。

送付状(イメージ)

株主様の郵便番号	株主番号9桁
株主様のご住所	
株主様のお名前	シナネンホールディングス株式会社
XXXXX XXXXX	XXXX XXXXXXXXX

株主番号を確認できる書類がお手元がない場合は、以下みずほ信託銀行証券代行部コールセンターへお問合せください。

みずほ信託銀行 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
(受付時間 平日9:00~17:00)

その他の株主番号の確認方法について
(みずほ信託銀行ホームページ)

https://contact.www.mizuho-tb.co.jp/faq/show/932?category_id=72&site_domain=default



第17回 「いつもありがとう」作文コンクール

言葉ではいえない家族への気持ちを作文に書いてみよう

主催:シナネンホールディングスグループ・朝日学生新聞社 後援:文部科学省・朝日新聞社

当社グループでは、子どもたちの健やかな成長を応援することを目的として、「いつもありがとう」作文コンクールを主催しています。今回は17回目となり、審査の結果は12月8日に発表となります。多くの心揺さぶる作品から選ばれる最優秀賞やその他受賞作品は下記「作文コンクール特設サイト」をご覧ください。

作文コンクール特設サイト <https://sinanengroup.co.jp/sakubun/>



『シナネンホールディングス 統合報告書 2022』が「International ARC Awards 2023」でBronze賞を受賞



「International ARC Awards」は、米国の独立評価機関であるMerComm, Inc.が毎年主催している世界最大規模のアニユアルレポートコンペティションです。計1,560件のエントリーの中から、【Electric & Gas Servicesセクター】において「Chairman's Letter/Presentation 部門」、「Design/Graphics 部門」で「Bronze(銅賞)」を受賞しました。今後も、様々なステークホルダーの皆様との建設的な対話をするコミュニケーションツールの一つとして本統合報告書を活用することで、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

統合報告書はこちらからご覧いただけます。

<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>



単元未満株式（1株～99株）をお持ちの株主様へ

単元未満株式（1株～99株）とは

当社の最低売買単位である1単元（100株）に満たない株式のことをいい、単元未満株式（1株～99株）については、証券市場で売買することはできません。

単元株式

- 株主総会で議決権を行使できる。
- 証券市場で売買できる。

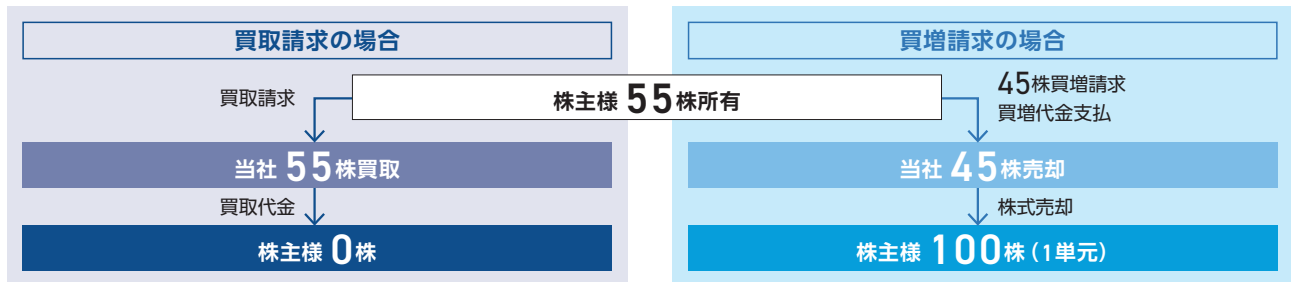
単元未満株式

- × 株主総会で議決権を行使できない。
- × 証券市場で売買できない。

単元株式（100株）にするには

単元未満株式をお持ちの株主様は、当社に対し市場価格で、**単元未満株式につき、単元株式（100株）にするために必要な株数を当社からご購入（買増制度）または単元未満株式をご売却（買取制度）**いただくことが可能です。

55株をご所有の場合（イメージ）



単元未満株式の買増及び買取にかかる当社の手数料は無料*です。ご利用をご検討ください。

*お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。特別口座に記録されている単元未満株式につき買増及び買取請求をされる場合は、手数料は無料となります。

単元未満株式の買増及び買取、配当金受領方法など

- 株主様の口座があるお取引の証券会社にお問合せください。
- 証券会社に口座がなく特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社（0120-288-324）にお問合せください。

会社情報・株式情報（2023年9月30日現在）

■ 会社情報

商号 シナネンホールディングス株式会社
本店所在地 東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館6階
創業 1927年4月11日
設立 1934年4月25日
資本金 156億3,000万円
連結従業員 3,327名（臨時従業員1,638名を含む）

■ 役員

代表取締役社長 山崎 正毅
代表取締役専務 清水 直樹
取締役 間所 健司
取締役CCO 三橋 美和
社外取締役（常勤監査等委員） 平野 和久
社外取締役（監査等委員） 篠 連
社外取締役（監査等委員） 村尾 信尚
社外取締役（監査等委員） 三谷 宏幸
社外取締役（監査等委員） 宗像 雄一郎

■ 株式情報

発行済株式総数	13,046,591株	
株主数	4,910名	
大株主		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社UH PARTNERS 2	1,067	9.81
株式会社UH PARTNERS 3	818	7.52
光通信株式会社	811	7.46
コスモ石油マーケティング株式会社	789	7.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	747	6.87
株式会社エスアイエル	734	6.75
明治安田生命保険相互会社	672	6.17
シナネングループ取引先持株会	447	4.11
出光興産株式会社	426	3.92
リンナイ株式会社	374	3.44

*1. 当社は自己株式2,169,514株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。
2. 持株比率は、自己株式2,169,514株を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
剰余金の配当基準日 3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同連絡先・郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
株主総会資料の電子提供制度（書面交付請求）についてのお問合せ 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324
（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
公告掲載方法 電子公告により、当社ホームページ（<https://sinanengroup.co.jp/>）に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時は日本経済新聞に掲載いたします。
各種事務手続き 詳しくは、こちらのページにてご確認ください。
<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>

